

甲第 2 号証

0008081476

死亡診断書 (死体検案書)

この死亡診断書 (死体検案書) は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名		鶴田 早亨		男性	生年月日	昭和 59年 6月 22日	
死亡したとき		平成25年 3月 22日		午後 7時 0分		生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください	
(12) 死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	①病院 2 診療所 3 介護老人保健施設 4 財団法人 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他					
(13)	死亡したところ	愛知県安城市安城町東広畔28番地					
	(死亡したところの種別1~6) 施設の種類	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院					
(14) 死亡の原因	I	(ア) 直接死因	低酸素脳症				約9時間
		(イ) (ア)の原因	窒息				約9時間
		(ウ) (イ)の原因					死に至るまでの期間
		(エ) (ウ)の原因					◆年、月、日等の単位で書いてください。ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください。(例:1年3ヶ月、5時間20分)
	II	直接には死因に關係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等					
(15) 死因の種類	手術	①無 { 部位及び主要所見 } 2 有 { }					
	解剖	①無 { 主要所見 } 2 有 { }					
(15) 死因の種類	①病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 { 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火傷による傷害 } 6 窒息 7 中毒 8 その他 12 不詳の死 その他及び不詳の外因死 { 9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因 }						
(16) 追加事項	傷害が発生したとき	時 分				傷害が発生したところ	都道府市区町村
	傷害が発生したところの種別	1 住居 2 工場及び作業現場 3 道路 4 その他()					
(16) 追加事項	◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください 手段および状況						
(17) 追加事項	生後1年未満で	出生時体重	単胎・多胎の別			妊娠週数	
	清楚した場合の	グラム	1 単胎 2 多胎	(子中第 子)		週 日	
(17) 追加事項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	1 無 2 有 [] 3 不詳		母の生年月日	前回までの妊娠の結果 出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)		
(18)	その他報告に付すべきことから						
(19)	上記の通り診断 (検案) する			診断年月日 平成25年 3月 22日 本診断書発行年月日 平成25年 3月 22日			
	(病院、診療所若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所)		愛知県安城市安城町東広畔28番地 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院				
(19)	(氏名)	医師	[]			(自署)	